

## 「心房細動による脳卒中を予防するプロジェクト(TASK-AF)」

# 脳卒中による寝たきりを予防するために、自治体・保険者・医療関係者へ具体的実行策を示す『提言書 第二版』を発表

公益社団法人日本脳卒中協会(所在地:大阪市、理事長:山口武典)とバイエル薬品株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:カーステン・ブルン)が共同事業として展開する「心房細動による脳卒中を予防するプロジェクト(呼称:TASK-AF: Take Action for StroKe prevention in Atrial Fibrillation)」は、この度、脳卒中予防への提言書 第二版を発表しました。本提言書は、2014年5月に発表した「脳卒中予防への提言—心原性脳塞栓症の制圧を目指すために—初版」で示した提言について、どのように実行が可能なのかを、各地で進む事例を取り上げながら、具体的な実行策を示したものです(本提言書の全文は次のプロジェクトウェブサイトよりご確認ください: [www.task-af.jp](http://www.task-af.jp))。

### 1. 『提言書 第二版』発行の経緯

#### 心房細動による脳卒中は寝たきりの主な原因

寝たきりの3人に1人は脳卒中が主な原因であることから、寝たきり予防のためには脳卒中予防が重要です。中でも、心房細動を主な原因とする「心原性脳塞栓症」は寝たきりなどの重い後遺症が残る割合が最も多いタイプの脳卒中です。高齢化の進展が著しい日本において、この心原性脳塞栓症は増えていくことが懸念されており、心房細動による脳卒中予防がより一層、重要になっています。

#### 地域一体による取り組みを提言：提言の実行に向けた3つの取り組みを開始

心原性脳塞栓症の予防には、心房細動を早期に発見し、脳卒中予防のための治療(主に抗凝固療法)を適切に行うことが大切ですが、現在は「発見」と「治療」の両方に多くの課題があります。TASK-AFは、これら課題の解決には、自治体、保険者、医療関係者などの連携が鍵を握ると考え、2014年5月に、地域一体での取り組みの必要性を「初版」として提言しました。以降、提言だけに留まらず、保健と医療の連携のあり方を検討した「心房細動による脳卒中を予防するための保健活動ガイドライン」の作成や、日常診療での心房細動の早期発見と医療連携の推進を目指す「秋田パイロットプログラム」、そして適切な治療継続のための患者教育と医療連携を検証する「伏見パイロットプログラム」の3つの取り組みを開始しました。

### 2. 『提言書 第二版』発行の目的

#### 提言書第二版は、自治体、保険者、医療関係者が提言を実施するための具体策を提示

本提言書第二版は、TASK-AFの過去1年間の活動成果、および各地域での先進的な取り組みなどを取り上げ、自治体、保険者、医療関係者などが、提言を実行に移すための具体的な施策について提示しました。提言は大きく、1)心房細動の早期発見 2)脳卒中予防のための適切な治療の推進 3)切れ目ない地域連携で乗り越える制度間の課題——の3部構成となっており、各項目について具体的な解決策や事例を紹介しています(提言の要旨は別紙参照)。

## 提言を実行に移すことで、心房細動による新規脳卒中発症数を半減させ、高度な要介護者を7%減少させる

さらに TASK-AF はこれら提言の実行を通して、1) 60 歳以上の 6 割に心房細動のスクリーニング(脈のチェックまたは心電図)を実施すること 2) 心房細動と診断され、抗凝固薬が必要な全ての患者に適切な抗凝固療法を実施・継続すること——を目標として設定しました。この目標を達成することで、心房細動による脳卒中の新規発症件数を半減させ、ひいては高度な要介護者の新規件数を 7%減少させることができると考えます\*。TASK-AF は、本提言書第二版をきっかけに、自治体、保険者、医療関係者などが検討を開始し、取り組みを始めることで、心原性脳塞栓症による「寝たきり」の予防に大きく貢献できることを期待しています。

\*この効果の推計は、2015 年 3 月現在における公表データのうち、この推計に最適と思われる複数のデータを組み合わせ合わせて実施しています(推計の詳細については提言書第二版付録1を参照)。将来、より適切なデータが利用可能となった場合は、それに基づきこの推計を再検討・修正することがあります。また、根拠としているデータにはそれぞれ不確実性があるため、この推計結果についても一定程度幅があり得ます。

### 参考文献

- 1) Inoue H, et al: Int J Cardiol 2009; 137: 102-107
- 2) Wolf PA, et al. Stroke 1991; 22: 983-988
- 3) 奥村 謙、目時典文、萩井譲士. 心電図 2011;31:292-296

以上

### 本件に関するお問い合わせ先:

「心房細動による脳卒中を予防するプロジェクト」事務局 (コスモ・ピーアール内)  
担当: 藤井、芳賀、長澤 (Tel: 03-5561-2915, Fax: 03-5561-2912, Email: task-af@cosmopr.co.jp)

### 公益社団法人日本脳卒中協会について

脳卒中に関する正しい知識の普及及び社会啓発による予防の推進ならびに脳卒中患者の自立と社会参加の促進を図り、国民の保健、福祉の向上に寄与することを目的とし、1997 年 3 月に任意団体として設立され、2005 年 3 月に社団法人として認可後、2012 年 10 月 1 日に公益社団法人に移行しました。2014 年 3 月現在、46 都道府県に 48 の支部があり、脳卒中を発症した患者さんやご家族を始め、医療従事者、行政・福祉関係者、一般の方々への情報提供や調査研究活動などを行っています。日本脳卒中協会に関する詳細は、ホームページ (<http://jsa-web.org>) をご参照ください。

### バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマケア、ラジオロジー & インターベンショナル(画像診断関連製品)、動物用薬品(コンパニオンアニマルおよび畜産用薬品)の4事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウイメンズヘルスケア領域、眼科領域の4領域に注力しています。バイエル薬品は、Science For A Better Life (よりよい暮らしのためのサイエンス)の企業スローガンのもと、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。

バイエル薬品ホームページ: <http://www.bayer.co.jp/byl>

### 将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルグループもしくは各事業グループの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述(Forward-Looking Statements)が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 ([www.bayer.com](http://www.bayer.com)) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。

「心房細動による脳卒中を予防するプロジェクト」による『提言書 第二版』の要旨は以下の通りです。

### 提言1：心房細動の早期発見

#### (1) 健康診断や保健指導を活用する

健診や保健指導の機会を活用し、脈拍触診（検脈）や心電図検査を推進します。

#### (2) 日常診療で見つける

高齢者の外来受診時のたびにあらゆる診療科で脈拍触診を行い、異常があれば心電図検査を実施することで、心房細動を効率的に見つけることができます。

#### (3) 日常生活で見つける

心房細動を早く見つけるためには日々自分の脈をチェックする習慣をつけることも大事です。そのためには「何が問題なのか」、「どうすればいいか」を理解してもらうための保健指導や市民啓発も欠かせません。

### 提言2：脳卒中予防のための適切な治療の推進

#### (1) 保健と医療の連携で診る

健診での心房細動の発見から医療への橋渡し、そしてその後のフォローアップを適切に行うためには「保健と医療の連携」が欠かせません。

#### (2) 「医師の連携」で診る

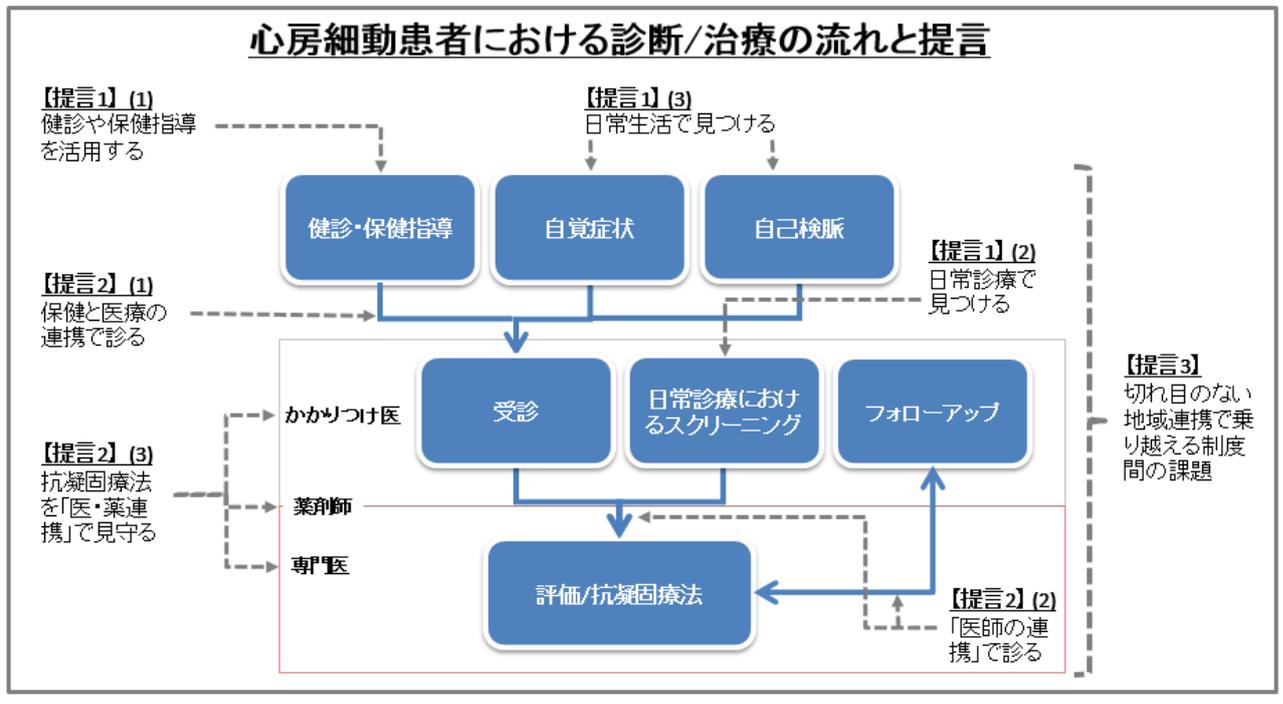
かかりつけ医と循環器専門医が連携して心房細動治療を進めることで、治療内容もより適切になり、診療の負担も軽くなります。

#### (3) 抗凝固療法を「医・薬連携」で見守る

脳卒中予防に欠かせないのは、抗凝固薬を毎日飲み続けることです。患者が治療方針を理解して、きちんと治療を続けるためには、医師と薬剤師が連携して教育・指導することが肝要です。

### 提言3：切れ目の無い地域連携で乗り越える制度間の課題

被保険者が退職して企業健保や協会けんぽ、共済組合などから国民健康保険に切り替わる時、国民健康保険から後期高齢者保険に切り替わる時は、健診・レセプトデータの所有者、保健活動の担い手も替わる節目です。地域連携は、課題解決のためのキーワードです。



本提言書の全文は以下のプロジェクトウェブサイトよりご確認いただけます。

<「心房細動による脳卒中を予防するプロジェクト」ウェブサイト URL: [www.task-af.jp](http://www.task-af.jp)>